

《 RDE-6N 》

周波数帯 …………… 50MHz帯	バンド幅 ……… 2MHz
エレメント長 …… 約1.3m (収納時0.73m)	重量 ……… 600g

【注意】RDE-6N はエレメントのみです。
別途バラ付マウントセット（製品名：RD-VB または RD-BL）が必要です。

取扱説明書

このたびはラディックス製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。
また、お読みになられた後は、大切に保存して下さい。

【 特 長 】

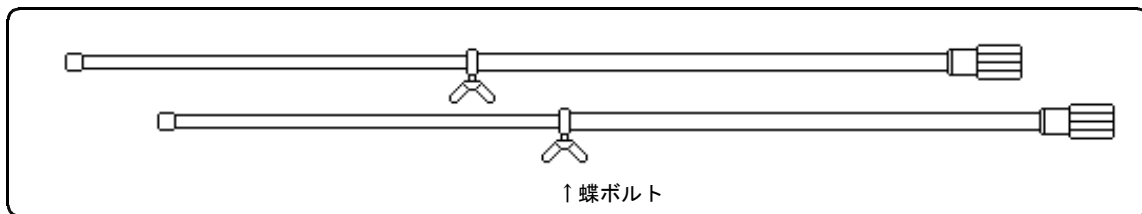
RD-VB, RD-BL, RD-BL/GIに取付ることにより、50MHz帯の運用が可能です。

安全にお使いいただくために

- エレメントが周囲の電線に接触すると感電したり、無線機が故障する恐れがあるので、電線のそばには設置しないでください。
- 落下防止のため、ネジ類のゆるみが無いか定期的に確認し、長期間ご使用にならない場合はエレメントをはずしておいてください。
- エレメントの交換時は、特に下の状況をよく見て、人通りなどのある時は絶対に作業をしないでください。また引っかけたりしないように周囲に何があるか確認後作業をしてください。
- アンテナを組み立てる時は安全な場所で行い、マスト等に取り付ける際は十分注意し、必ず安全ベルトを着用してください。
- ベランダ等での作業は片方ずつ行い、手すりから身をのりださないように注意してください。
- 風の強い日や雨・雪の日、また夜間は危険ですので絶対に作業はしないでください。
- 送信中にエレメントには絶対に触れないでください。やけどの原因となり大変危険です。運用中は他の人も危険の無いように十分注意してください。
- 時々VSWRの確認をして最良の状態にて運用してください。VSWRが悪化している場合は原因を確認し、原因不明の場合は使用を中止してください。

- アマチュア局の工事設計書（申請・変更）の空中線の型式には「ダイポール」とお書きください。
- このアンテナはアマチュア無線用のアンテナです。この用途以外、規格外、または正常に動作していない状態でのご使用にて発生したトラブルにつきましては、責任を負いかねます。
- お買い求めいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等による、破損などがございましたら当社までご連絡ください。

付属品を確認しましょう

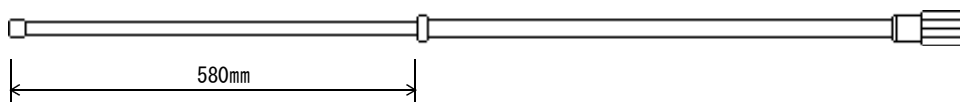


※RDE-6にはマッキング・ケースは付属しません。

調整方法

- ◆ 準備 ◆
 - ・VSWR 計をご用意ください。
 - ・アンテナ・チューナーやカプラーをご使用の方はスルー状態にするか、はずして下さい。
 - ・同軸ケーブルの不良（断線・ショート・接触不良等）が無いか確認してください。
- ◆ 注意 ◆
 - ・調整時の電力は50W以下にしてください。

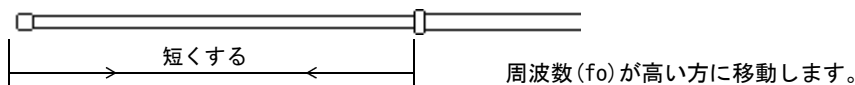
- (1) 下図の標準寸法にエレメント長を調整してください。
ご希望の周波数(F) のVSWRを測定します。VSWR 1.5 以下でしたらそのままご使用になれます。



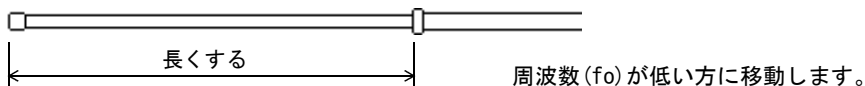
- (2) VSWR 1.5 以上の方、または VSWR をより良くしたい方は、次のように調整して下さい。

- ① 標準寸法にて、バンド内数ヶ所のVSWR を測定し、一番 VSWR が良い周波数(f_0)を探します。

- ② $f_0 < F$ (f_0 が低い)



- ③ $f_0 > F$ (f_0 が高い)



【参考】エレメント長 1 cmあたりの周波数の変化の割合 300KHz/cm
1 cm長く（短く）すると、約 300KHz 程 低く（高く）なります。
(この値は周囲の状況によって変わりますので、参考値です)

- (3) VSWR が 1.5 以下に下がらない場合は、エレメントの角度を変えてみるか、設置場所を変えて、再度 (1) から調整を行ってください。ただし角度を変えてしまいますと、他エレメントもこの角度に合わせて再調整が必要になる場合もありますので、ご注意ください。
- (4) 調整が終わりましたら、マウント・ベース裏面のナットを10mmのスパナでしっかりと締め付けてください。また、組立方法に間違いはないか、ネジ類のゆるみ等がないかよく確認してください。

★★★ VSWR が 1.5 以下にならない方へ ★★★

オート・チューナーやカプラーはスルーにするかはずしてありますか。また同軸ケーブルはチェックしましたか。見た目はへいきでも、古い同軸ケーブルは結構痛んでいるものです。ご不明な点がございましたら、当社までお気軽にご連絡ください。